

ハクセンシオマネキ

Uca lactea

十脚目 スナガニ科

カテゴリー

大分県 準
環境庁 準



紀伊半島以西に生息する甲の幅1～2cmのカニ。雌のハサミは左右とも小さく相称であるのに対して、雄は片方のハサミが白く肥大しており、「白い扇」で潮を招くように見えるため、この名前がある。海岸の潮間帯上部から潮上帯の砂泥、または砂れき中に深さ15～30cmの巣穴をつくり、泥中の有機物や微生物を食べて生活する。県内では、周防灘海岸や国東海岸を中心に、その生息が確認されている。護岸工事や河川改修により生息場所が完全に消失した地域があり、生息環境の悪化が懸念される。

(写真・文：松尾敏生)

県内分布 周防灘海岸，国東海岸，別府湾沿岸，豊後水道域沿岸に注ぐ主要河川，及びその周辺の小河川の河口域

分布域 本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島），沖縄
朝鮮半島，台湾，中国

甲
殻
類